



日野学園だより

No. 220

令和8年1月30日



品川区立日野学園

校長 守屋 直孝

ホームページ URL <https://hinogaku.shinagawa.andteacher.jp/>

E-mail hinogakuen@city.shinagawa.tokyo.jp

ホームページはこちらから

地域とともにある義務教育学校を目指して

統括副校長 倉次 里絵

各地から雪便りが届き、厳しい寒さを慮る日が続きます。各御家庭で健康管理等の御配慮をいただきながら、今日も子どもたちはもち前の良さや力を学校で発揮しています。

さて、1月23日に品川区教育委員会による「しながわ義務教育学校シンポジウム～10th Anniversary～」が行われました。御存じの通り、日野学園は、20年前に公立学校で全国初の施設一体型小中一貫校として開校しました。その後、10年の月日を経て、本校を含む区内6校の義務教育学校が制度化されました。まさに、義務教育学校の制度化10年目の節目にあたり、これまでの一貫教育の成果を確認し、今後の在り方を考える機会として、本シンポジウムが実施されました。午前中は、本校が公開校として、遠く青森県から鳥取県まで総勢50名に及ぶ教育関係の方々に御来校いただき、子どもたちの学びの様子、成長の姿を参観いただきました。午後は五反田文化センターの音楽ホールで、本校を含む義務教育学校の紹介やパネルディスカッション、講演が行われました。

パネルディスカッションでは、6校の義務教育学校の8年生が、自校の良さや今後の抱負について実にさわやかに語り合っていました。本校は児童生徒会会長が登壇し、会場の方々に次のように語りました。

日野学園に通っていて良かったと思うことは、「コミュニケーションの心得」を学べたことです。それは、相手と上手に話題を広げていく力や、相手のプライベートな部分に踏み込み過ぎない線引き、そして、対話を純粋に楽しむ力です。地域清掃や、小学校・中学校の枠を超えた、多くの交流の機会を通して、日野学園の児童や生徒はこうした力を、それぞれに合った形で、自然と身に付けることができている。「交流の楽しさ」を知れることが、義務教育学校の一番の良さだと思います。

地域の多くの方々に、今以上に親しみをもってもらえる学校にしたいです。地域の方々が、日野学園の近くを通るだけで、学校全体に親近感や安心感のようなものが湧くような、地域のシンボルみたいな存在感のある学校にしたいです。

「3学期は次学年の0学期」と言われます。本校では全教職員による今年度の教育活動の振り返りを経て、令和8年度の教育活動の検討を重ねています。

『子どもたちの良さをしっかり把握し、その良さを十二分に伸ばしていきたい。

そのために、私たち教職員のつよみを理解し、生かし合っていきたい。

また、小学校でも中学校でもない、義務教育学校として、日野学園として、ここでないといけないこと、ここだからこそできることを追究・追求し、実現していきたい。』

と気持ちを新たに臨んでまいります。

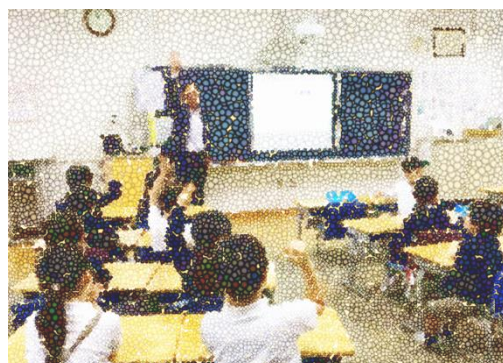
地域とともにある学校づくりは続きます。子どもたちのよりよい教育活動に向け、なお一層の御理解御協力をお願い申し上げます。

1月の子どもたちの学びから

1年

株式会社 LIXIL から講師を招き「家の中の安全」について学習しました。

お風呂場や台所、ドアの開閉に至るまで、家の中には様々な危険が潜んでいることを改めて確認しました。動画を使って学習し、身近にある危険に自分たちの体験を重ね、真剣に話を聞いていました。その後、ワークシートを使って振り返りました。校内でも、危険な場所はないか確認して、安全な過ごし方等を学級ごとに繰り返し学習していきます。



2年

1月20日(火)の3・4時間目に、2年生はリオデジャネイロ五輪女子出場選手の関根花観選手をお迎えし、出前授業を行いました。3時間目には、競技人生や関根選手が大事にしていることについてお話を聞き、実際に使用していたユニフォームやグッズを見せていただきました。4時間目には、実際の練習を関根選手と一緒に行いました。速く走るコツや身体を動かす楽しさを教えていただき、子どもたちも一生懸命取り組むことができました。



3年

1月20日(火)教室に置いてある石鹸をつくっている会社、東京サラヤ株式会社による「手洗いについて」の出前授業を行いました。正しい手洗いの仕方や、手洗いの必要性について学びました。実験では、クリームを塗った手をよく洗った後、ブラックライトで照らして、その洗い残しを確認しました。手首や手のしわや爪に洗い残しが多かったようです。30秒以上、洗うことや手の正しい洗い方について学びました。



4年

1月19日(月)、伝統工芸「江戸すだれ」の鈴木さんから職人の工夫や努力、工芸品の未来についての話を聞き、子どもたちは伝統文化を残す大変さと大切さを学びました。

また、1月20日(火)、東京2025デフリンピックに出場したビーチバレーボール選手の瀬井選手と山本選手から、誰に対しても思いやりをもって関わることの重要性を学びました。現役のデフリンピアンである選手の話聞き、多くの子どもたちが「音が聞こえない方とも話ができるようになりたい。」と考えました。



1月の子どもたちの学びから

FSS席書会

1月9日(金)に令和7年度FSS席書会が行われました。4階のフロアいっぱいには5、6、7年生が一斉に集い、同じ方向を向いて一心にしなやかに筆を運びました。2026年最初の交流の場である席書会で、一文字一文字に自分の思いを込めて筆を走らせる姿は壮観でした。文字を書く楽しさと上達する喜びを感じ得るよい機会となりました。



8年 がん教育

「医学生によるがん教育推進協会」から、医学生の羽賀さん、実際に「がん」を御経験された藤原さんをお招きして講演会を行いました。羽賀さんからは、「がん」に対する基本的な知識、自分の周りの人が病気にかかったらどうするかなどのお話をいただきました。藤原さんからは、自身の経験に基づくお話をいただきました。

「がんは誰でもかかる可能性がある」

藤原さんの言葉です。決して他人事ではないその講演に、生徒たちはメモを取りながら、真剣な様子で話を聞いていました。



7・9年 多様性の授業

NPO法人 関東パラ陸上競技協会理事長である花岡伸和さんをお招きして、7、9年生合同で多様性について考える授業を行いました。

競技用車いすとボッチャの体験の後、「未来のつくり方」をテーマに、「今の自分にできる小さな一つの挑戦を続けることが大切である」、「今の自分の努力が未来の自分をつくっていく」ことなどについて体験をもとに丁寧に話していただきました。自分の進路と向き合っている子どもたちにとって、様々なことを考える貴重な契機となりました。



オークランド派遣授業

1/13(火)から1/21(水)まで、英語科授業の充実および国際交流の促進を図るため、品川区の友好都市であるニュージーランドオークランド市からCoop先生が日野学園に派遣されて授業を行ってくださいました。2～6年生においては、先生の御家族のことや趣味について、写真や動画を使い紹介いただきました。また、オークランドの文化や生活の様子などについて、カードゲームや調べ学習を行いました。その他の学年は、算数や英語の授業のサポートをしていただきました。最終日の児童生徒会朝礼では、Coop先生から日野学園の子どもたちと先生はとても素晴らしいとお言葉をいただきました。



2月の行事予定

1	日		15	日	
2	月	常任委員会 5-9	16	月	5-9 授業日 ※1-4 振替休業日
3	火	安全指導 中央委員会 委員会活動 4 英語絵本読み聞かせ 1	17	火	移動教室 6 笑顔と学びプログラム 5 英語絵本読み聞かせ 2
4	水	全校朝礼 午前授業	18	水	移動教室 6 児童生徒会朝礼 いちよん活動
5	木	職場訪問 7 校外学習 8	19	木	午前授業 6
6	金	新入生説明会 (新 1, 新 7) 午前授業 1	20	金	午前授業 1-4 新入生学校体験
7	土		21	土	
8	日		22	日	
9	月	4 5 6 活動 避難訓練 5 時間授業	23	月	天皇誕生日
10	火	品川教育の日 午前授業 1-5, 7, 8 5 時間授業 6 2 時間授業 9	24	火	学年末考査 5-9
11	水	建国記念の日	25	水	学年末考査 6-9 ブロック集会 1-4
12	木	1-4 学習成果発表会リハーサル 宿泊前検診 6 5 時間授業 1-4 午前授業 9	26	木	学年末考査 7-9 校外学習 後 5 社会科見学 6
13	金	1-4 学習成果発表会児童生徒鑑賞日 5 時間授業	27	金	一〇式 保護者会 1-5, 7, 8 LINE 出前授業 6 5 時間授業
14	土	1-4 学習成果発表会保護者鑑賞日 5 時間授業 1-4 ※5-9 休業日	28	土	

お願い

転居等により児童生徒の居住地の変更(予定)がある場合には、早めに担任まで連絡を重ねてお願いいたします。

